

## 令和5年度 第27回「加賀野地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年12月2日（土） 10：00～11：00

場 所：加賀野公民館

参加団体等：友賀会、青年会、防犯協会、加賀野地区振興協議会、社会福祉協議会、  
加賀野スポーツ協会、加賀野地区町会連合会、環境美化委員会、町会連  
合会理事、公民館長など

### 発言【1】

西柏こども園に関して、新しい移転先は西柏町に隣接した柏野地区の土地になると聞いた。この移転に関して、こども園から近隣の町内会や住民に対して説明会が特にない。移転予定地の近隣住民から、どのようなものになるかわからず不安の声が出ている。市からこども園に説明会などを開くように指示してもらいたい。

#### 【市】

市としても、法人の新たな園舎等の建設計画等については、地域住民の理解・協力が必要だと考えているので、法人には地域住民との接点を持つように働きかけていきたいと思います。

### 発言【2】

- (1) 加賀野地区には中央公園をはじめとした8つの公園がある。3～4年前までは地区の住民で協力しながら除草作業などをおこなっていたが、地区の高齢化も進み、自分たちだけですべて対応することは難しく、有料で業者に委託などをして対応している。地区の財政だけでは難しく、市に大きな木の伐採など協力を要請しているが、すぐに対応してもらえない。改めてお願いしたい。
- (2) 防災倉庫については、物資など現状必要なものが1か所にまとめて収納できず、ばらばらに収納されている状態で、災害時の対応に不安が残る。なるべく早めの設置をお願いしたい。

#### 【市】

- (1) 加賀野地区の8つの公園については、地元と管理協定を締結し、草刈りや低木の世話などをしていただいています。地元で対応できないような高木については、サステイナブル・グリーン事業として、地元と協議を行いながら毎年少しずつではありますが、支障木の伐採などを行っています。

今後も、市内公園全体的に優先順位をつけ、計画的に対応していきたいと考えています。

- (2) 防災倉庫については数年のうちに全地区の設置を予定して進めています。設置場所が決まれば設置に向けて計画していきます。

### 発言【3】

市の笑顔プロジェクトや元気プロジェクトを見ると防災についての記述が多いが、箱物などハード面を中心に予算が組まれているような印象を受ける。台風など風雨災害は近年の異常気象もあり頻繁になってきている。高齢者が増えている中、住民同士の協力や避難の効率化など、ソフト面が重要になってきていると考えるが、その点については市としてどう考えているか。

#### 【市】

防災対策における平時からの備えとして、地区単位で自主的に行う防災活動、そして、災害時に連携して対応できる体制づくりなどの取り組みは非常に重要であると考えています。

本市は市域が広いことから、地域防災力の要となる自主防災組織の重要性を感じています。このことから、市内28地区すべてにおいて、「市民協働で創るまちづくり」として、まずは、防災をキーワードに、令和6年度のスタートに向け「地域コミュニティ組織」の設立に向けた取り組みをお願いしているところです。

これまで以上に地域の皆様方と行政が相互に連携・協力を図りながら、そして一体となって、防災・減災への取り組み、「災害に強いまちづくり」を推進していきたいと考えています。

### 発言【4】

加賀野地区に関しては高齢化が進んでいる。先日、協働推進課の主催する勉強会で、講師が本当に恐ろしい高齢者問題はこれからだと話していた。加賀野地区は全地区で一番面積が少なく、地区内だけに限れば人口は十数年で10%減少している。造成を増やしてもこの一帯の田んぼは大体柏野地区であり、加賀野地区の人口は増えない。加賀野地区に住みたいと思ってもらえるよう地区としてもまちづくりに取り組んでいきたいと思うが、具体例がまだなく、市としても提案や援助をお願いしたい。

#### 【市】

本市では、少子高齢化や人口減少を見据えて市民協働で創るまちづくりを進め

ており、地域の多様な課題に主体的に取り組むことができる環境を構築するため、令和5年12月に「白山市地域コミュニティに関する条例」を制定しました。

持続可能な地域づくりには、地域住民が主体となって地域の将来や課題を話し合うことで、地域課題の解決の糸口を見つけることができると考え、地域コミュニティ組織の設立を推進しています。

加賀野地区においても、組織設立準備と並行しながら多様な住民とのワークショップや世代を超えたイベントを鋭意取り組まれており、このような事業の継続・発展が住みたい地区につながると考えます。

市としては来年度に公民館がコミュニティセンターへ移行し、白山市地域コミュニティ推進交付金を交付するなど、多様な住民が地域づくりに一層参画できるよう支援していきたいと思います。